

2023年10月25日
公益財団法人イオン環境財団

10月28日(土)第4回「君津イオンの森づくり」を実施

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役代表執行役会長 以下当財団)は、10月28日(土)に第4回「君津イオンの森づくり」を実施します。

当財団は、2020年12月に、森林の再生を目指し、林野庁国民参加の森づくり活動における「モデルプロジェクトの森」として、林野庁関東森林管理局と協定を締結し、君津市と覚書を交わしました。本協定に基づき、伐採跡地において、植樹をはじめ下草刈り等の森の整備活動を通じ、森とのふれあいや環境教育の機会をつくるため、「君津イオンの森づくり」を行っております。また、当植樹地は、千葉大学大学院園芸学研究科のランドスケープの演習の場としても利用されています。

過去3回の植樹では、累計1,000名のボランティアの皆さまとともに、君津市の花であるミツバツツジをはじめとする地域の自生種6,440本の植樹を実施しました。今回は、獣害等で苗木が枯れている箇所、450名のボランティアの皆さまとともに、コナラ・ケヤキ・ヤマザクラ・イロハモミジ・ミツバツツジの5樹種、1,000本の植樹を実施します。

当財団は、今後もひとつしかない地球を、次代にみどり豊かな自然環境を引き継ぐため、植樹をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日 時	2023年10月28日(土) 10:00~11:30
場 所	千葉県君津市戸崎2650番1 戸崎国有林「君津イオンの森」
本 数	1,000本
参加者	450名
樹 種	コナラ・ケヤキ・ヤマザクラ・イロハモミジ・ミツバツツジ 5樹種
主 催	公益財団法人イオン環境財団
後 援	林野庁 関東森林管理局
協 力	君津市・千葉大学・企業組合千葉県森林整備協会・千葉県森林研究所 イオンリテール(株)・イオンモール(株)・まいばすけっと(株) マックスバリュ関東(株)・イオンレーヴコスメ(株) イオンフィナンシャルサービス(株)・(株)イオン銀行

出席者	林野庁関東森林管理局	千葉森林管理事務所所長	原 啓一郎 様
(予定)	君津市	危機管理監	森 勝利 様
	公益財団法人イオン環境財団	理事長	岡田 元也

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに、万里の長城での植樹をはじめとする「植樹（イオンの森づくり）」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の事業を中心に活動に取り組んでいます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は1991年のスタートから数えて約1,255万本（2023年2月末時点）となります。

【君津イオンの森づくり】

- ・2021年 4月17日 植樹 1,800本 参加人数 300名
- ・2021年 10月31日 植樹 1,640本 参加人数 110名
- ・2022年 11月 6日 植樹 3,000本 参加人数 600名

【千葉大学大学院園芸学研究科 ランドスケープの演習テーマ】

2022年より、君津イオンの森を健全に生育させるための方法と現状から将来にわたっての活用方法の提案を目的とした演習を行っています。

- ・2022年テーマ トレイル（多角的な散策ルートの考察）・ササ防止（ササ等雑草の効果的な刈払い方法の研究）・多様な環境の保全（生物多様性保全のための調査と植栽樹種の提案）
- ・2023年テーマ 苗木保護（苗木の枯損原因の把握と保護方法の提案）・植生（森を特徴づける植物の調査・保全案の提案）・湿地（湿地環境区域の環境把握と植栽計画の作成）

■イオン環境財団で行ってきた千葉県における森づくり

植樹時期 植樹名	植樹本数 （樹種）	内容
2012年～2015年 浦安市植樹	19,800本 （ヤマモモ・ウラジ ロガシ・タブノキ・ スダジイなど）	東日本大震災時の液状化で噴出した土砂の処理が深刻な課題となっていたことを受け、この土砂を土壌の盛土として活用する植樹活動を実施しました。4年間の活動を通じ、延べ2,300名のボランティアの皆さまと植樹しました。
2016年～2018年 千葉市植樹	25,000本 （クヌギ・コナラ・ガ マズミ・サクラな ど）	千葉市と「千葉市における森林整備」を締結し、3年計画で植樹を行いました。1回目は、「千葉市富田都市農業交流センター」で、第2回・第3回は、森林・草原・水辺など多様な自然環境のなかで多くの野鳥を観察でき、日本のさくら名所百選に選定されている「泉自然公園」で、延べ3,000名で植樹しました。
2019年～2022年 九十九里浜植樹	17,000本 （抵抗性クロマツ・ マサキ・トベラ・ア キグミなど）	松くい虫被害や湿地化により疎林化が進み、また東日本大震災では津波被害にも遭った千葉県九十九里浜地区の海岸県有保安林において、災害にも強い海岸防災林の再生を目指し、千葉県「法人の森事業」に賛同し植樹を行っています。2022年までに、延べ1,200名のボランティアの皆さまと植樹しました。